

## 参考データ集

2010年(平成22年)11月8日

## 連結子会社および持分法適用関連会社 **INPEX**

### 連結子会社 54社

主な連結子会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
ジャパン石油開発	アラブ首長国連邦	100%	生産中	3月(仮決算)
ナトゥナ石油	インドネシア	100%	生産中	3月
サウル石油	チモール海・共同開発地域	100%	生産中	12月
インペックス西豪州ブラウズ石油	オーストラリア	100%	開発準備作業中	3月(仮決算)
インペックス南西カスピ海石油	アゼルバイジャン	51%	生産中	3月(仮決算)
インペックス北カスピ海石油	カザフスタン	45%	開発中	3月(仮決算)

### 持分法適用関連会社 13社

主な持分法適用関連会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
MI Berau B.V.	インドネシア	44%	生産中	12月
アンゴラ石油	アンゴラ	19.6%	生産中	12月
インペックス北カンポス沖石油	ブラジル	37.5%	生産中	12月

# セグメント情報

2011年3月期第2四半期(2010年4月1日～2010年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア・オセアニア	ユーラシア (欧州・NIS諸国)	中東・アフリカ	米州	計	調整額 (注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
売上高	47,022	199,960	21,078	157,137	7,793	432,992	—	432,992
セグメント利益又は損失(△)	8,832	112,908	9,836	106,875	△ 1,587	236,866	△ 4,258	232,608

(注)

- 1 セグメント利益の調整額△4,258百万円は、セグメント間取引消去117百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,376百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2

# LPG売上高

	10年3月期第2四半期 (2009年4月-9月)	11年3月期第2四半期 (2010年4月-9月)	増減	増減率
売上高(億円)	49	102	53	108.7%

販売量(千bbl)	1,019	1,645	626	61.4%
海外生産分平均単価(\$/bbl)	43.50	64.79	21.29	48.9%
国内生産分平均単価(¥/kg)	114	118	4	3.6%
平均為替(¥/\$)	95.05	90.21	4.84円円高	5.1%円高

地域別販売量(千bbl)	10年3月期第2四半期 (2009年4月-9月)	11年3月期第2四半期 (2010年4月-9月)	増減	増減率
日本	107 (10千ト)	126 (12千ト)	19 (2千ト)	17.8%
アジア・オセアニア	912	1,518	607	66.5%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	-	-	-	-
合計	1,019	1,645	626	61.4%

3

# 利払い・償却・探鉱費前利益(EBIDAX)

(百万円)	10年3月期第2四半期 (2009年4月-9月)	11年3月期第2四半期 (2010年4月-9月)	増減	備考
純利益	47,645	50,626	2,981	P/L
少数株主損益	2,747	2,495	△252	P/L
減価償却相当額	48,366	55,385	7,019	
減価償却費	19,919	28,087	8,168	C/F コンセッション契約及び販管費に係る減価償却費
のれん償却額	3,380	3,380	0	C/F
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	25,067	23,918	△1,149	C/F PS契約に係る減価償却費相当額
探鉱費相当額	15,104	15,986	882	
探鉱費	8,098	6,461	△1,637	P/L コンセッション契約に係る探鉱費
生産物回収勘定引当金操入額	2,653	7,500	4,847	P/L PS契約に係る探鉱費相当額
探鉱事業引当金操入額	4,353	2,025	△2,328	P/L PS契約に係る探鉱費相当額
重要な非現金項目	2,477	4,294	1,817	
法人税等調整額	2,336	6,979	4,643	P/L
為替差損益	141	△2,685	△2,826	C/F
税引後ネット支払利息	△1,161	△965	196	P/L 税引後の支払利息—受取利息
EBIDAX	115,178	127,821	12,643	

4

# 生産物回収勘定の増減推移

(百万円)	11年3月期第2四半期 (2010年4月-9月)
生産物回収勘定(期首)	514,645
増加:	
探鉱投資	8,122
開発投資	62,061
操業費	22,699
その他	1,493
減少:	
コスト回収(CAPEX)	23,918
コスト回収(Non-CAPEX)	51,177
その他	2,676
生産物回収勘定(期末)	531,249
生産物回収勘定引当金	106,463

5

# 2011年3月期 販売量・投資額(予想)

**INPEX**

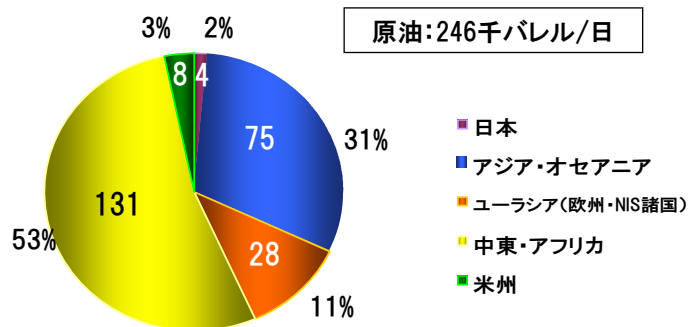
2011年3月期予想		5月12日時点	11月4日時点	増減	【参考】 第2四半期累計実績
販売量	原油 (千バレル) <sup>1</sup>	74,374	74,653	279	36,496
	天然ガス (百万cf) <sup>2</sup>	397,743	391,688	△6,055	199,442
	うち海外分	335,550	329,877	△5,673	171,541
	うち国内分	62,193 (1,666百万m <sup>3</sup> )	61,811 (1,656百万m <sup>3</sup> )	△382 (△10百万m <sup>3</sup> )	27,901 (748百万m <sup>3</sup> )
		買入量:466百万m <sup>3</sup>	買入量:468百万m <sup>3</sup>	2百万m <sup>3</sup>	226百万m <sup>3</sup>
LPG (千バレル) <sup>3</sup>	2,627	4,147	1,520	1,645	
開発投資額 (億円)		2,340	2,050	△290	948
その他設備投資額 (億円)		210	200	△10	110
探鉱投資額 <sup>4</sup> (億円)		560	380	△180	124
探鉱費および 探鉱関連引当額 <sup>5</sup> (億円)		探鉱費 206 探鉱関連引当額 267 473	探鉱費 160 探鉱関連引当額 250 410	△63	186
うち少数持分負担額 <sup>6</sup> (億円)		155	156	1	32

- 注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29バレルを使用  
 2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m<sup>3</sup>=37.32cfを使用  
 3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5バレルを使用  
 4 権益取得費を含む  
 5 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額+探鉱投資引当金繰入額を記載  
 6 少数株主損益・持分変動利益として計上され、純利益には影響しない少数株主による増資見合い分

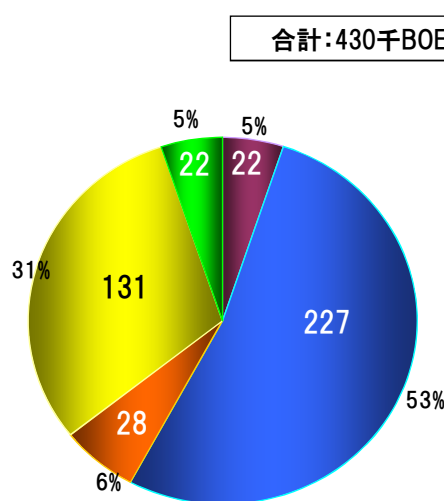
# 生産量\*(2010年4月-9月)

**INPEX**

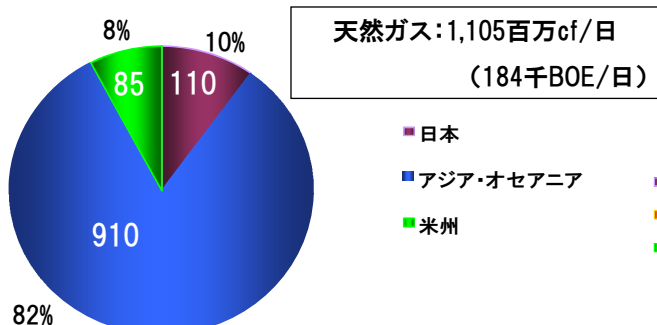
## 原油



## 原油・天然ガス合計



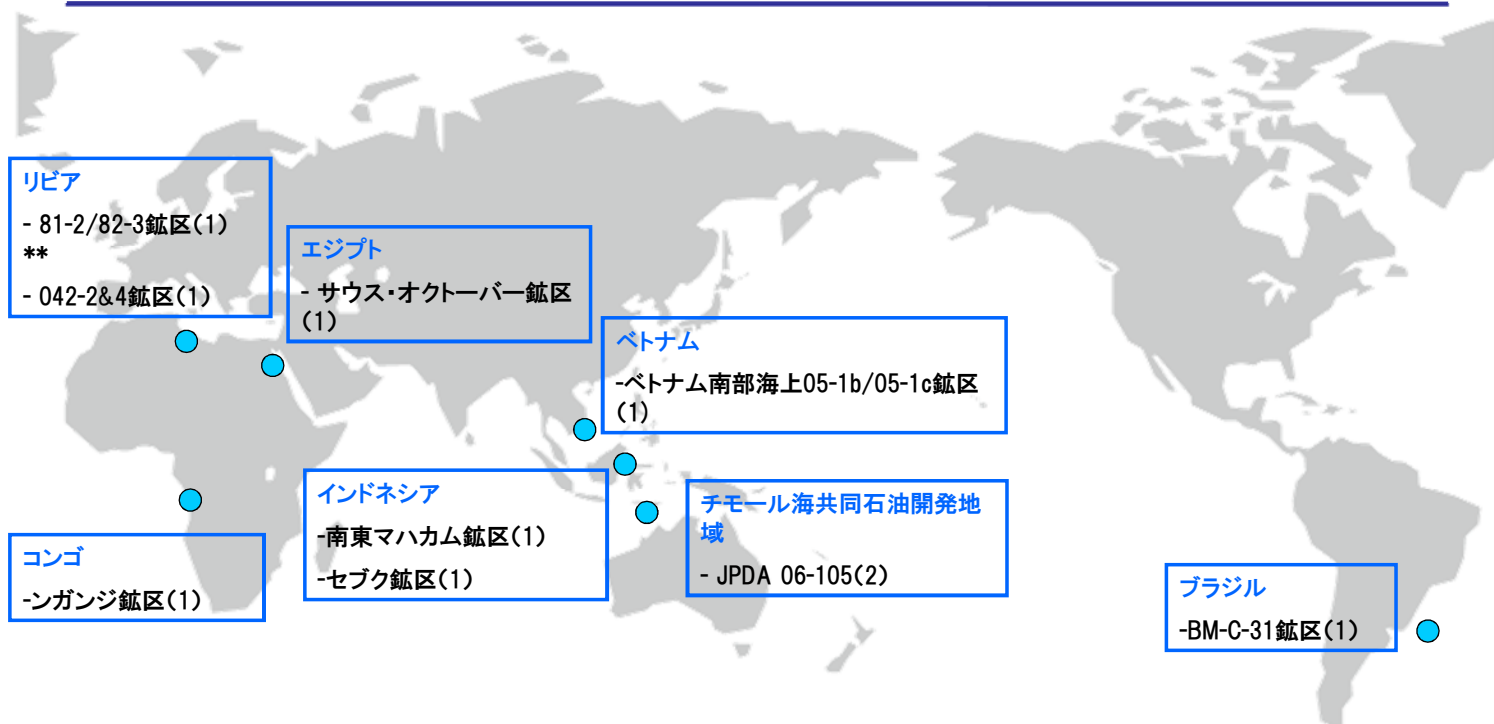
## 天然ガス



\* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しています。  
 \*\* 原油には、コンデンサート及びLPGを含みます。

## プロジェクト参考データ

### 探鉱実績(9月末時点)\*

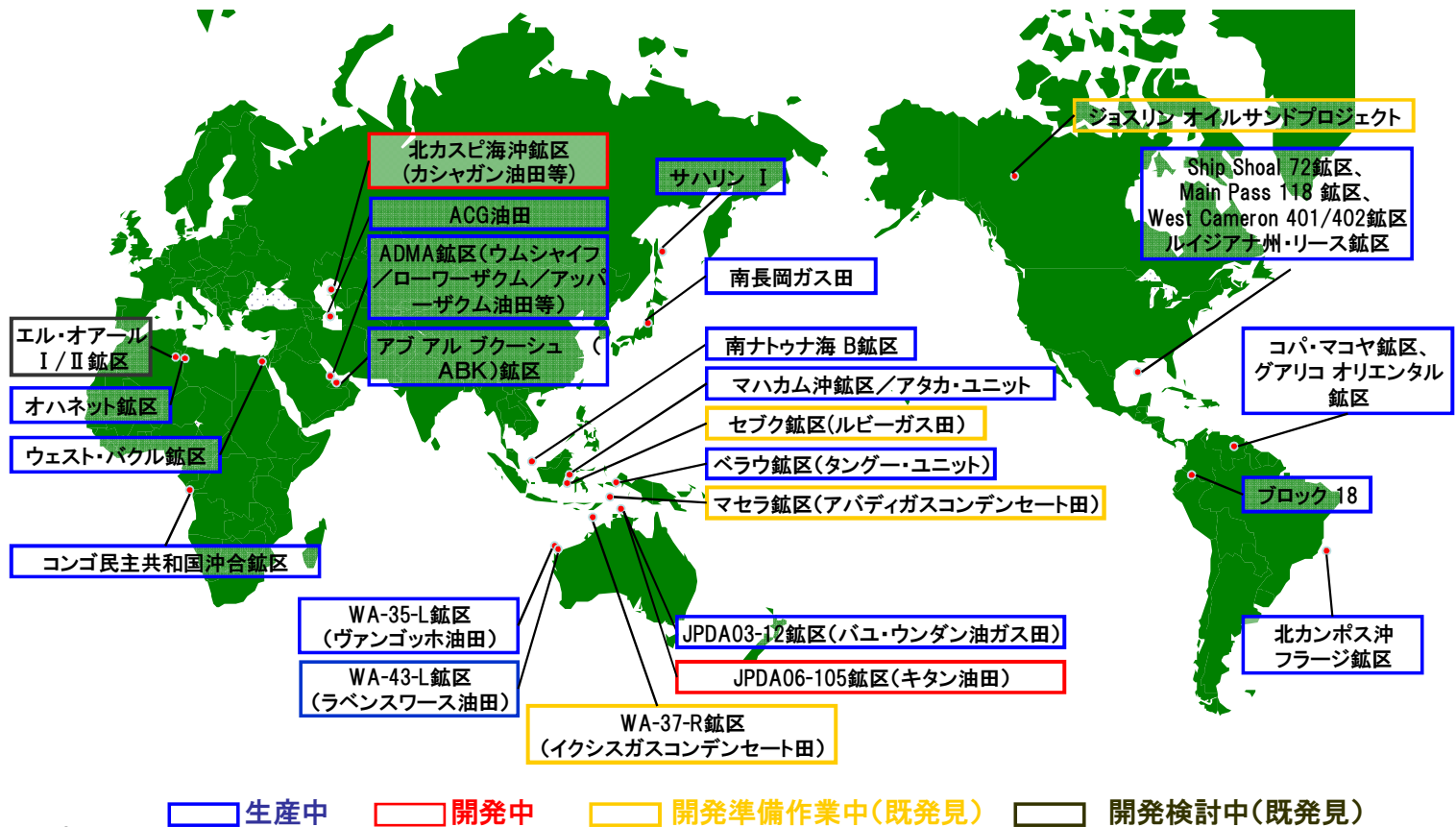


\* ( )内の数字は掘削坑井数  
 \*\* オペレータープロジェクト

	試掘井(本)	2D震探(km)	3D震探(km <sup>2</sup> )
2011年3月期(計画)	19	1,146	4,134
うち作業中・作業済	10	1,092	1,702

# 主な生産・開発プロジェクト

INPEX



10

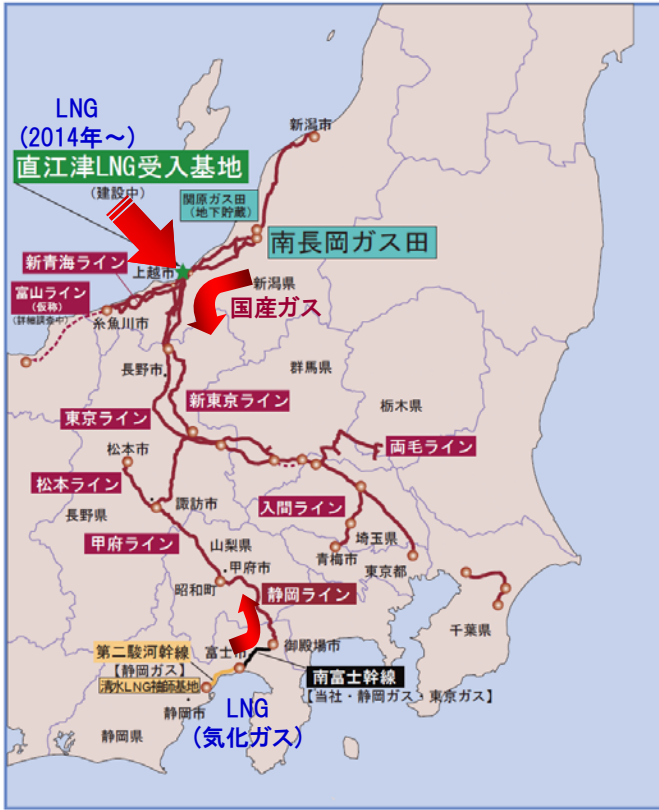
# 生産開始スケジュール

INPEX

生産開始	プロジェクト・油ガス田	国	オペレーター	ピーク生産量・生産キャパシティ	当社シェア*1
2010年8月末	ラベンスワース油田	オーストラリア	BHPBP	- *2	28.5%
2011年下半年期	キタン油田	JPDA	ENI	4万bbl/日	35%
2012年度(2012年4月～2013年3月)	カシャガン油田 パウルガス田(南ナトゥナ海B鉦区) サウスマハカムガス田(マハカム沖鉦区)	カザフスタン インドネシア インドネシア	NCOC*5 ConocoPhillips TOTAL	150万bbl/日 - *2 未定	7.56% 35% 50%
2013年度(2013年4月～2014年3月)	ルビーガス田(セブク鉦区) サウスプレットガス田(南ナトゥナ海B鉦区) ウムルル油田 ナスル油田	インドネシア インドネシア アラブ首長国連邦 アラブ首長国連邦	パールエナジー ConocoPhillips ADMA-OPCO ADMA-OPCO	100MMscf/日 - *2 - *2 - *2	15% 35% 12.0% 12.0%
2014年度以降(2014年4月以降)	ジョスリンオイルサンドプロジェクト(露天掘り) イクシスLNGプロジェクト(LNG) (コンデンセート) (LPG) アバディLNGプロジェクト	カナダ オーストラリア インドネシア	TOTAL 当社 当社	20万bbl/日 約840万 <sup>トン</sup> /年 約10万bbl/日 約160万 <sup>トン</sup> /年 450万 <sup>トン</sup> /年*3	10% 76% 90%
既発見・生産開始未定	クダ・タシ/ジャハール構造 コニストン/ノバラ構造 カイラン/アクトテ/カラムカス/カシャガンサウスウェスト構造 エルオアールI&II	JPDA オーストラリア カザフスタン アルジェリア	ENI Apache NCOC*4 ENI	未定 未定 未定 未定	35% 41.324% 7.56% 10.29%

\*1 当社シェアは、鉦区権益比率。ただし、持分法適用関連会社分は、鉦区権益比率に当社出資比率を乗じたもの  
 \*2 プロジェクトパートナー各社との守秘義務上、公開不可  
 \*3 基本承認済PODより  
 \*4 North Caspian Operating Company

11

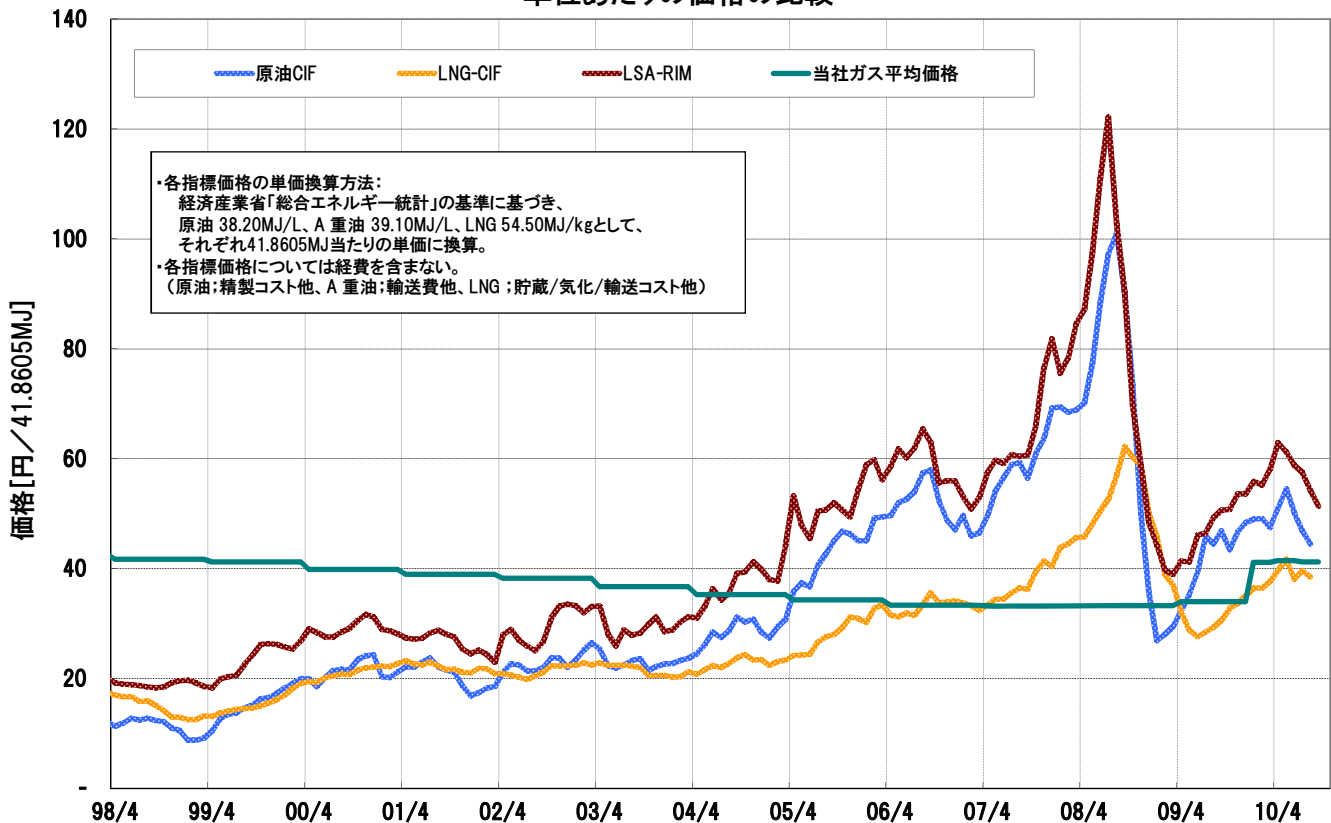


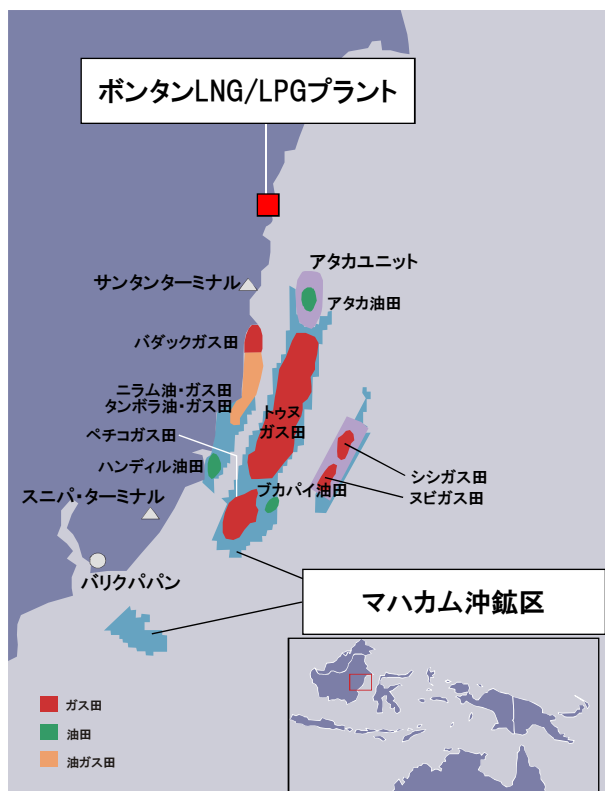
- 生産量\*
  - ・天然ガス: 約4.2百万m<sup>3</sup>/日 (147百万cf/日)
  - ・原油: 約4千バレル/日
- 南長岡ガス田
  - ・供給能力: 5.3百万m<sup>3</sup>/日
  - ・関原地下貯蔵: 2.4百万m<sup>3</sup>/日
- 天然ガス販売状況
  - ・静岡ガス(株)からのLNG導入によりソースを多元化(2010年1月~)
  - ・2009年度販売量: 17.1億m<sup>3</sup>\*\*
  - ・中長期的に20億m<sup>3</sup>を超える規模の需要を想定
- パイプラインネットワークの拡充 (総延長約1,400km)
  - ・新青海ライン完成(約68km)
  - ・新東京ライン延伸(第四期工事)実施
  - ・富山ライン(仮称)の建設に向けた詳細調査開始
- 直江津LNG受入基地の建設 (2014年操業開始予定)
- 発電事業: 約5.5万kw

\* 国内油田・ガス田の合計(2010年3月期平均日産量)  
 \*\* 1m<sup>3</sup>当たり41,8605MJ換算

国内天然ガス価格

単位あたりの価格の比較



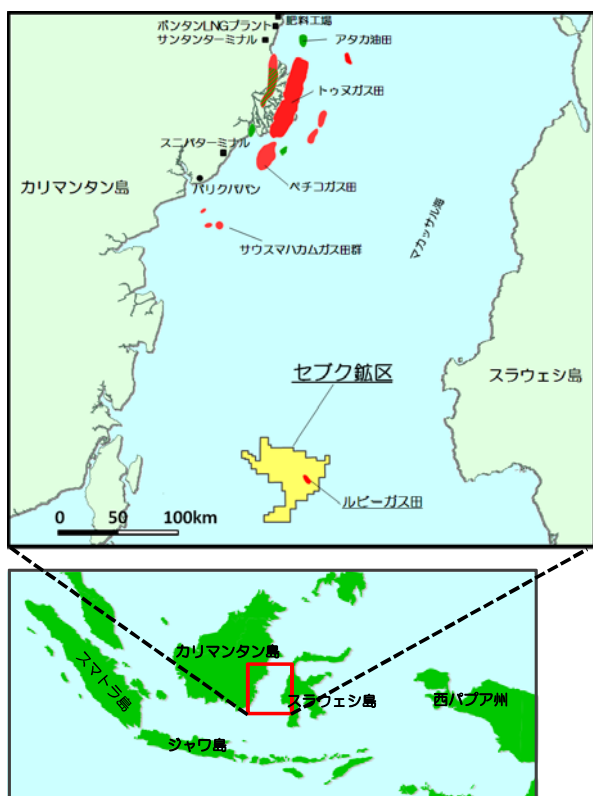


注: \* 全鉱区ベース、2010年9月平均日産量

- 当社権益比率: 50%  
(オペレーター: TOTAL)
- 生産量\*
  - ・原油・コンデンセート: 日量約7万2千バレル
  - ・天然ガス: 日量約21億立方フィート
- PS契約: 2017年まで
- ボナタンLNG基地へのガス安定供給を目的として開発作業を継続
  - ・トウヌ/ペチコガス田の段階的開発
  - ・タンボラ油・ガス田の追加開発
  - ・シシ/ヌビ ガス田の開発
  - ・サウスマハカムガス田の開発着手
- 2009年2月、LNG販売契約の更新に係る基本合意書締結
- 2010年10月、西ジャワ洋上LNG受入基地へのLNG販売契約に係る基本合意書締結
- PS契約の延長に向けTOTALとともにインドネシア当局と交渉継続中

## セブク鉱区(ルビーガス田)

### 南マカッサル石油

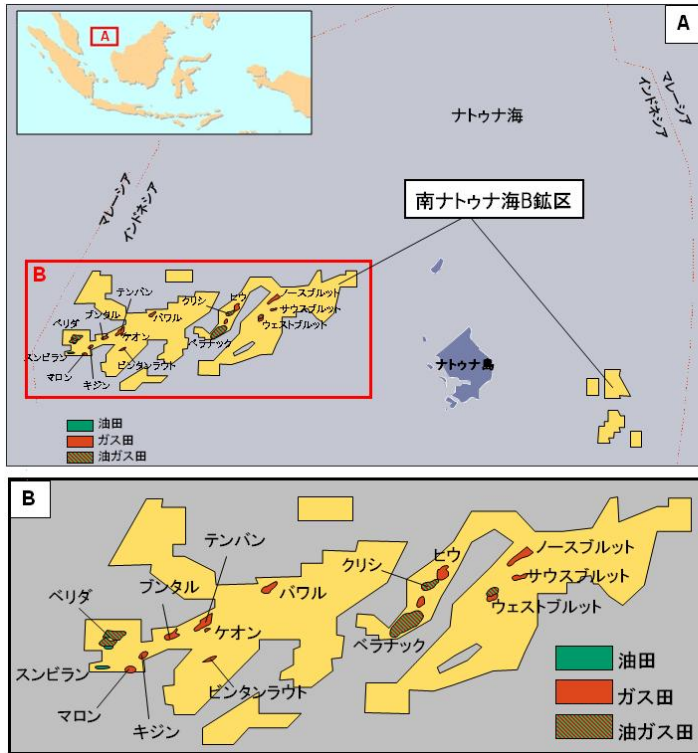


- 当社権益比率: 15%  
(オペレーター: パールエナジー社)
- PS契約: 2027年まで
- 2008年7月、インドネシア政府よりルビーガス田の開発計画が承認
- 2010年8月、オペレーターであるパールエナジー社と締結した権益譲渡契約のインドネシア政府承認を取得(当社15%権益取得)
- 2013年、生産開始予定
- 海底パイプラインをマハカム沖鉱区既存施設へ繋ぎ込み、生産される天然ガスの販売を検討中
- 生産ガスの大部分をインドネシア国内肥料工場向けとして供給予定



# 南ナトゥナ海B鉱区 ナトゥナ石油

INPEX

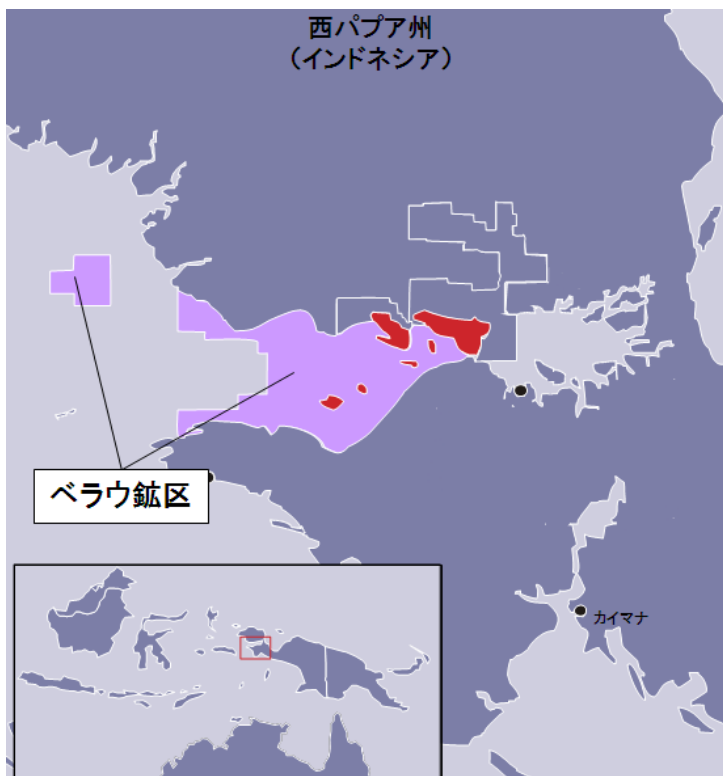


- 当社権益比率: 35.0%  
(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量\*:
  - ・原油: 日量約5万8千バレル
  - ・LPG: 日量約2万バレル
  - ・天然ガス: 日量約4億立方フィート
- PS契約: 2028年まで
- SembCorp社(シンガポール)と2001年より22年間、Petronas(マレーシア)と2002年より20年間の天然ガス販売契約締結
- 2004年12月、世界有数規模のFPSOで操業を行うベラナック油ガス田より原油・コンデンセートの生産を開始
- 2007年4月、ベラナック油ガス田よりLPGの生産を開始
- 2007年12月、クリシ油ガス田より生産開始
- 2009年11月、ノースブルットガス田より生産開始
- 2012年、バワルガス田の生産開始予定
- 2013年、サウスブルットガス田の生産開始予定

\* 全鉱区ベース、2010年9月平均日産量

# ベラウ鉱区(タンゲーLNGプロジェクト) MI Berau B.V./MIベラウジャパン

INPEX



- MI Berau/MIベラウジャパン\*:
  - 三菱商事とのJV(当社44%、三菱商事56%)
  - \*MIベラウジャパンはケージーベラウ石油開発に約16.5%出資
- 権益比率:
  - ・MI Berau分:
    - ベラウ鉱区 22.9%(タンゲー・ユニット 16.3%)
  - ・ケージーベラウ石油開発分:
    - ベラウ鉱区 12%(タンゲー・ユニット 8.56%)
    - (オペレーター: BP)
- 生産量\*
  - ・コンデンセート: 日量約6千バレル
  - ・天然ガス: 日量約9億立方フィート
- PS契約: 2035年まで
- 生産計画: 年間760万トン
- 2009年7月、LNG船第1船出荷

\* 全鉱区ベース、2010年9月平均日産量

# マセラ鉱区(アバディ)

## インペックスマセラアラフラ海石油

**INPEX**



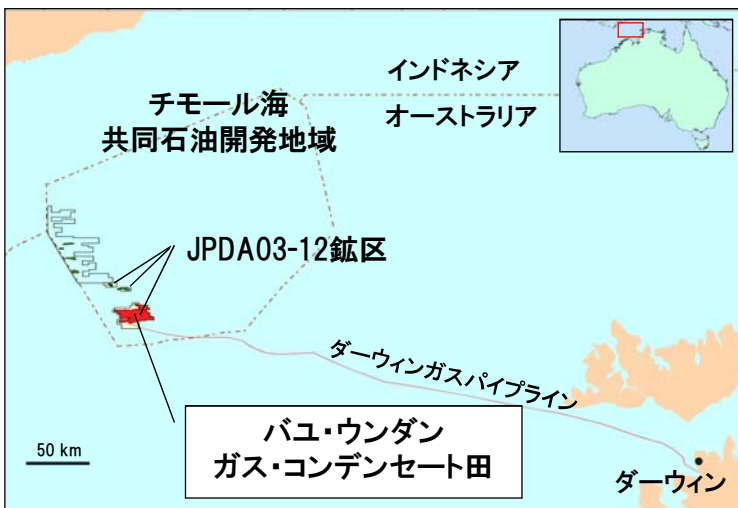
- オペレーター: 当社
- PS契約:
  - ・探鉱期間10年間(2008年まで)
  - ・開発・生産期間20年間(2028年まで)
- 2000年に試掘井アバディ1号にて天然ガスを発見。2002年に評価井2坑を掘削。2007年5月より4坑の評価井掘削を実施
- 開発計画(POD)についてインドネシア政府より基本承認を取得  
開発方式: Floating LNG
- 開発計画に対するインドネシア政府による第三者評価実施
- 現在、第三者評価を踏まえたプロジェクトの進め方についてインドネシア政府と協議中
- インドネシア企業1社(PT EMP Energi Indonesia社)に対し参加権益10%を譲渡

18

# JPDA03-12鉱区(バユ・ウンダン ガス・コンデンセート田)

## サウル石油

**INPEX**



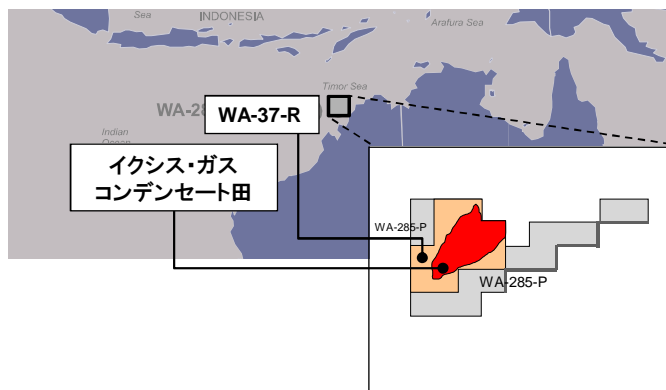
- 当社権益比率: 11.274908%  
(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量\*
  - ・コンデンセート: 日量約6万2千バレル
  - ・LPG: 日量約3万7千バレル
  - ・天然ガス: 日量約6億立方フィート
- PS契約: 2022年まで
- 2004年2月にコンデンセート/LPG販売開始
- 2005年8月、東京電力/東京ガスとLNG販売契約締結(2006年から17年間、年間300万トン)
- 2006年2月、LNG販売開始

\* 全鉱区ベース、2010年9月平均日産量

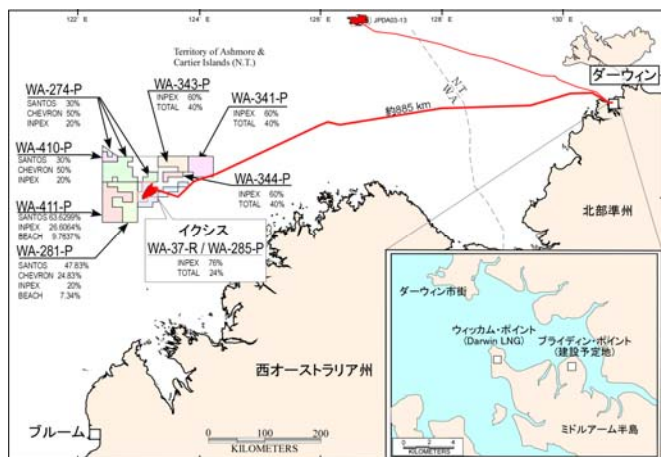
19

# WA-37-R 鉱区(イクシス)及びWA-285-P 鉱区 インペックス西豪州ブラウズ石油(1/2)

**INPEX**



- 当社権益比率: 76.0%
- オペレーター: 当社
- 利権契約:
  - ・ WA37R(リテンションリース) 2014年9月まで
    - 生産期間はライセンス付与から生産終了まで
    - LNG年間約840万トン、コンデンセート日量約10万バレル(ピーク)、LPG年間約160万トン生産予定
  - ・ WA-285-P(探鉱鉱区) 2015年7月まで



20

# WA-37-R 鉱区(イクシス)及びWA-285-P 鉱区 インペックス西豪州ブラウズ石油(2/2)

**INPEX**

## ■ 開発作業

- 2000年より計6坑井を掘削し大規模天然ガス・コンデンセート田を確認、イクシス構造と命名
- 2006年8月、長期にわたり豪経済発展に貢献するプロジェクトとして、豪州連邦政府が主要促進プロジェクトに認定
- ガス埋蔵量の拡大を目的として、試掘井Dinichthys North-1を2007年4月より、また試掘井Ichthys West-1を2008年4月より掘削し、計8坑の試探掘を実施
- 2008年9月、ガス液化プラント建設地を北部準州ダーウィンに決定
- 2009年1月、ガス液化プラントの基本設計作業(FEED)開始
- 2009年4月、イクシス ガス・コンデンセート田沖合生産施設・パイプラインの基本設計作業(FEED)開始
- 2010年9月、ガス液化プラントのエンジニアリング作業ほぼ終了。EPC準備作業中。 沖合施設はエンジニアリング作業継続中
- 2010年11月、沖合生産・処理施設(Central Processing Facility)のEPC入札作業開始

## ■ 環境許認可

- 2006年5月、豪州連邦政府及び西豪州政府に対し、プロジェクトの環境影響審査手続きを開始
- 2008年5月、豪州連邦政府及び北部準州政府に対し、プロジェクトの環境影響審査手続きを開始
- 2010年4月、EIS(Environmental Impact Statement)ドラフトを連邦政府及び北部準州政府へ提出。同年5月にパブリックレビュー開始に関する連邦環境大臣承認取得。同年7月15日～9月10日に環境影響評価報告書(EIS)のパブリックレビューを実施。今後、パブリックレビュー時のコメントを踏まえ追加レポート(サプリメント)を発行、その後、政府よりEIAの承認を取得予定

## ■ 生産ライセンス

- 2009年9月、イクシスガス・コンデンセート田をカバーするブロックにつきWA-37-R 鉱区としてリテンションリースが付与(WA-37-R以外のブロックについては従前通りWA-285-P 鉱区として探鉱作業継続中)
- 2010年3月、暫定鉱区開発計画書(PFDP)を政府に提出。生産ライセンスの取得手続き開始

## ■ その他

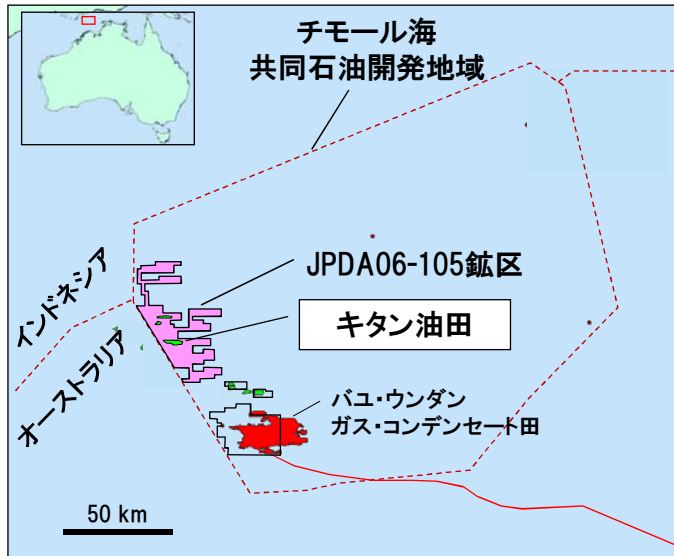
- 2009年4月、ダーウィン事務所開設
- 2010年10月、豪州パースにおける組織体制を強化

21

# JPDA06-105鉦区(キタン油田)

インペックスチモールシー

INPEX



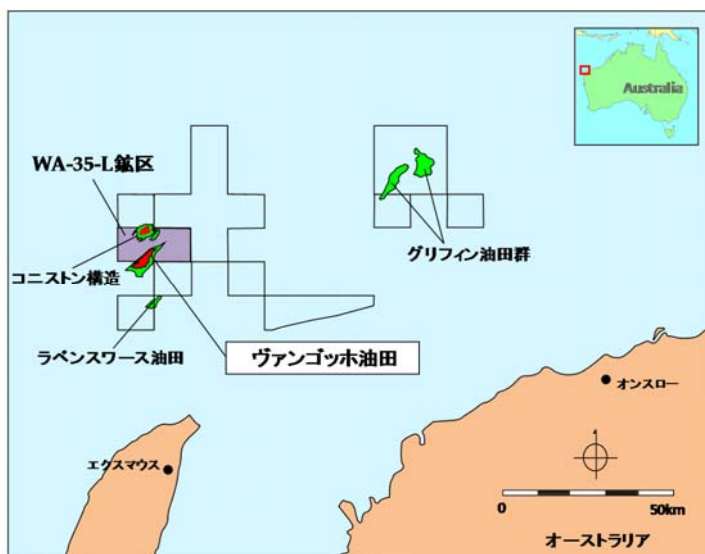
- 当社権益比率: 35%  
(オペレーター: Eni)
- PS契約: 2035年4月まで(キタン油田)
- 2008年3月、試掘井キタン1号井及び評価井キタン2号井において原油を確認
- 2008年4月、キタン油田商業発見宣言
- 2010年4月、キタン油田の最終開発計画に対し共同管轄当局の承認取得
- 2011年下半年期、生産開始予定

22

# WA-35-L鉦区(ヴァンゴッホ油田)

アルファ石油

INPEX



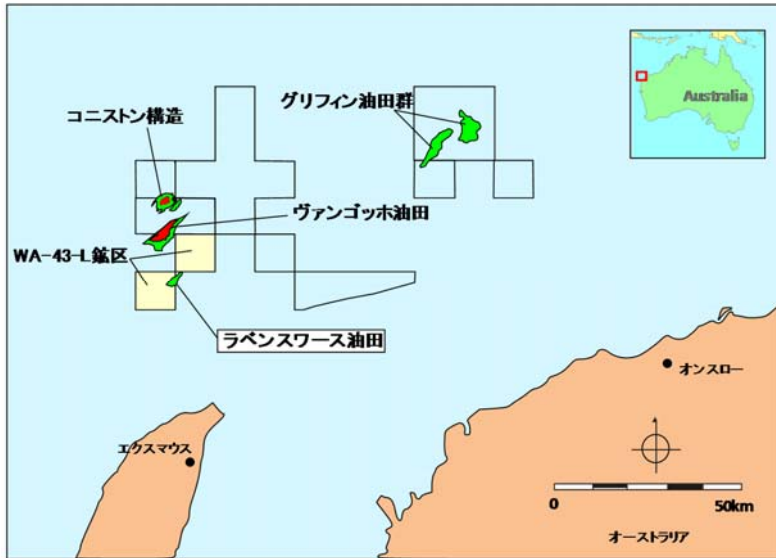
- 当社権益比率: 47.499%  
(オペレーター: Apache)
- 利権契約
- 2008年10月生産ライセンス取得
- 2010年2月に原油生産開始
- 生産量\*:  
原油: 日量約4万1千バレル

23

\* 全鉦区ベース、2010年9月平均日産量

# WA-43-L 鉱区 (ラベンスワース油田) アルファ石油

**INPEX**



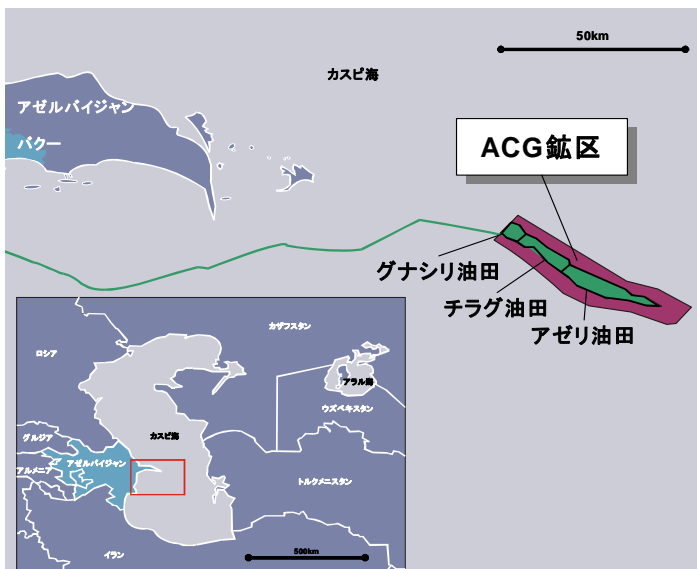
- 当社権益比率: 28.5%  
(オペレーター-BHPBP)
- 利権契約 (2009年11月生産ライセンス取得)
- 2007年11月、開発移行を決定
- 隣接するWA-42-L 鉱区 の生産施設への繋ぎ込みによる開発
- 2010年8月末に生産開始
- 生産量\*:  
原油: 日量約1万2千バレル

24

\* 全鉱区ベース、2010年9月平均日産量

# ACG 油田 インペックス南西カスピ海石油

**INPEX**



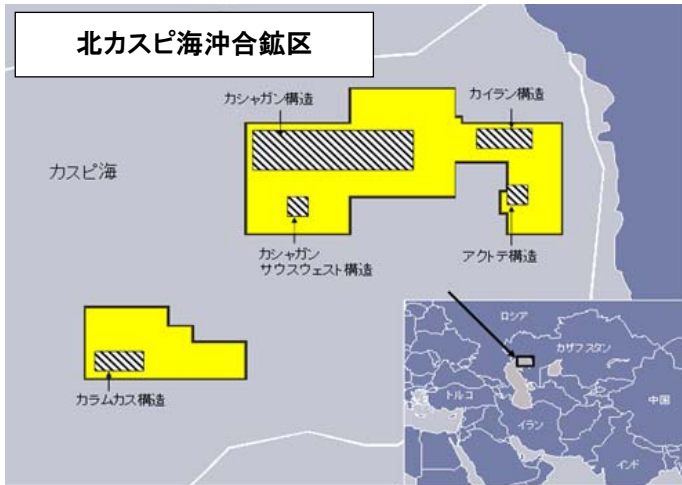
- 当社権益比率: 10.9644% (オペレーター: BP)
- 生産量: 日量約87万バレル\*
- PS契約: 2024年まで
- チラグ油田は1997年に生産開始
- フェーズ1: アゼリ油田中央部は2005年2月に生産開始
- フェーズ2: アゼリ油田西部は2005年12月に生産開始、アゼリ油田東部は2006年10月に生産開始
- フェーズ3: グナシリ油田深海部は2008年4月に生産開始
- 2010年3月、追加開発(Chirag Oil Project)の政府承認
- 2010年8月、参加権益の一部を追加取得 (10%→10.9644%)

25

\* 全鉱区ベース、2010年9月平均日産量

# カシャガン油田他 インペックス北カスピ海石油

**INPEX**



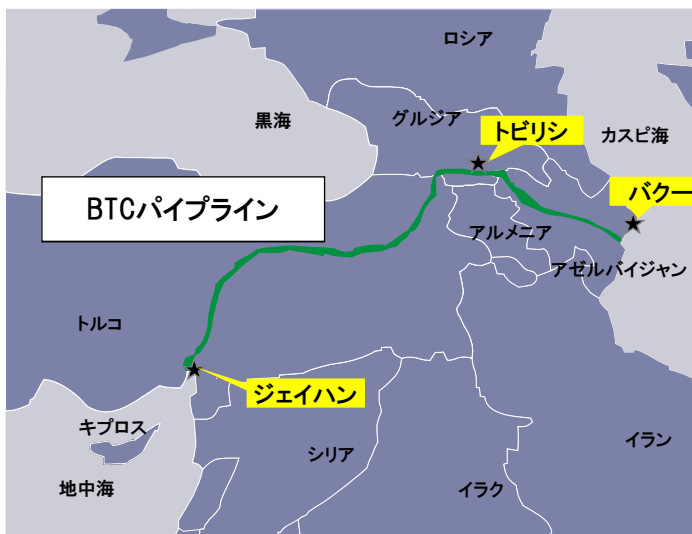
- 当社権益比率: 7.56%(オペレーター: NCOC(North Caspian Operating Company))
- PS契約: 2021年末まで\*
- 2000年6月カシャガン構造において原油発見
- カシャガン油田以外にもカラムカス/アクトテ/カイルン/南西カシャガンの4構造にて炭化水素の存在を確認
- 2008年10月、カザフスタン政府と最終合意に到達。新操業会社(North Caspian Operating Company)を設立し、2009年1月より、同社がオペレーターAgip KCO社の役割を承継
- 2012年末、生産開始目標
- 第一段階の開発(Experimental Program):原油生産量(プラト一生産量)は、日量30万バレル、続いて45万バレルに逐次増加。カシャガン油田の全体開発では、2010年代末に向けて日量150万バレルを予定

\*20年間の延長オプション有り

26

# BTC(BakuTbilisiCeyhan)パイプラインプロジェクト INPEX BTC Pipeline, Ltd.

**INPEX**

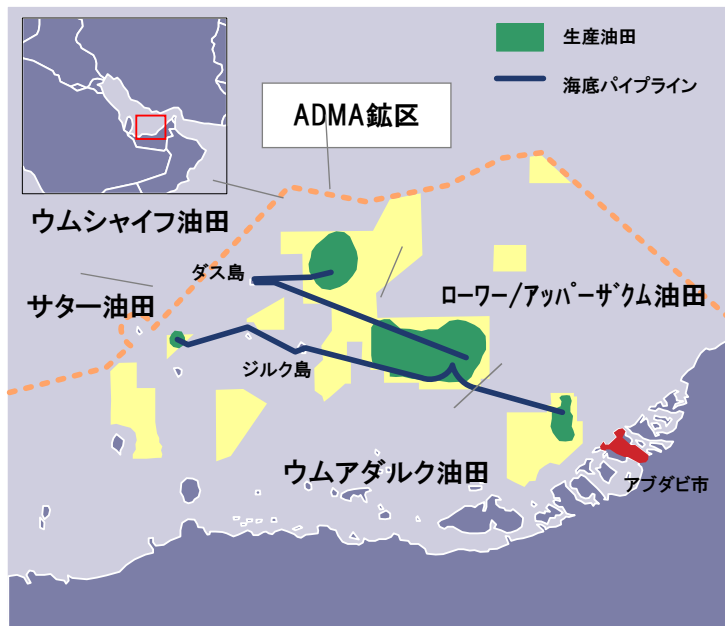


- 当社権益比率:2.5%(オペレーター:BP)
- 2002年10月、当社、参加権益2.5%取得
- 2006年6月、ジェイハンターミナルから原油出荷開始
- 2009年3月、輸送能力日量120万バレルまでの拡張作業を完了
- 2010年9月13日、累計10億バレル出荷を達成

27

# ADMA鉦区 ジャパン石油開発(JODCO)

**INPEX**

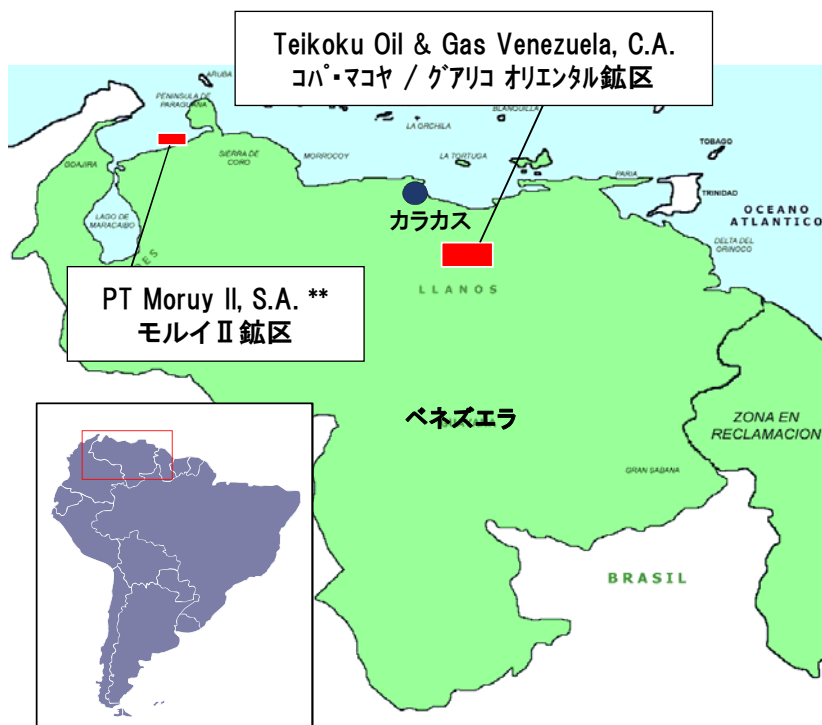


- ウムシャイフ/ローワーザクム
  - ・当社権益比率: 12.0%(オペレーター:ADMA-OPCO\*)
- アッパーザクム/ウムアダルク/サター
  - ・当社権益比率:  
アッパーザクム/ウムアダルク 12.0%  
サター 40.0%(オペレーター:ZADCO\*)
  - \*アブダビ国営石油会社とJODCOなどで設立した操業会社。  
JODCOから両社へそれぞれ12%を出資。
- 利権契約: 2018年まで(但し、アッパーザクム油田は2026年まで)
- 生産量維持・拡大のため開発作業を継続中
  - ・全油田で水圧入を実施
  - ・ウムシャイフ/ローワーザクムでガス圧入実施
  - ・有望未開発3構造の開発計画策定作業
  - ・新ガス圧入施設(ウムシャイフ)、追加ガス処理施設(ローワーザクム)設置作業終了後、繋ぎ込み作業実施中
  - ・人工島を利用した再開発計画策定作業(アッパーザクム)

28

# ベネズエラ プロジェクト Teikoku Oil & Gas Venezuela, C.A.ほか

**INPEX**



- コパ・マコヤ (ガス事業)/  
グアリコ オリエンタル鉦区(原油事業)
- ジョイントベンチャー出資比率
  - ・ガス事業:70%、原油事業:30%
- ジョイントベンチャー契約
  - ・2006-2026年
- 生産量\*
  - ・ガス: 日量約74百万立方フィート
  - ・原油: 日量約1千バレル

- モルイⅡ鉦区
- 当社権益比率:50%
- 義務井試掘1号井掘削済

\* 全鉦区ベース2010年9月平均日産量

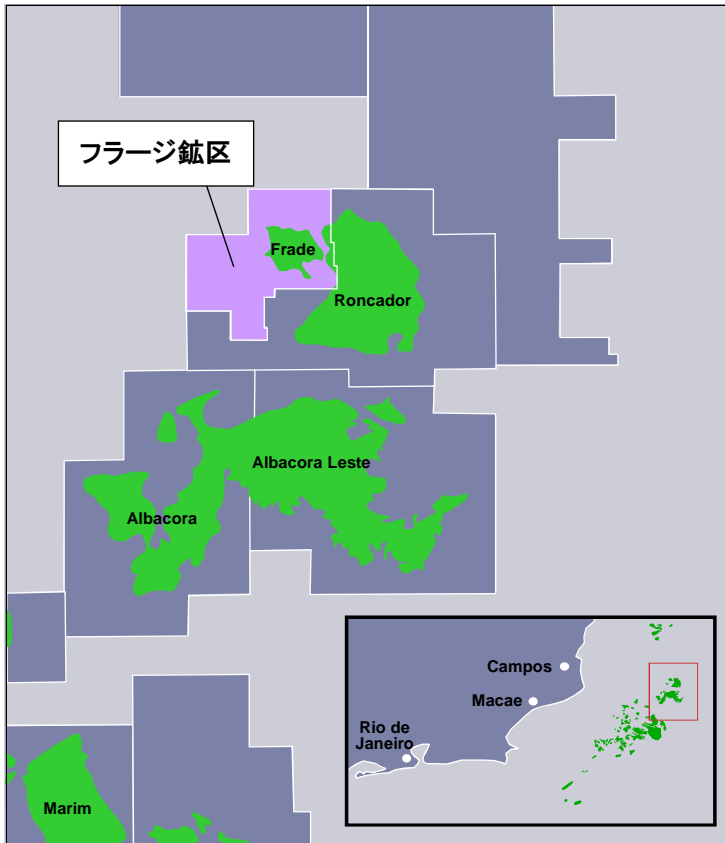
\*\* ペトロブラスと当社50:50の共同出資によるJV

29

# フラージ鉱区

Frade Japã o Petr 6leo Limitada (FJPL)

**INPEX**



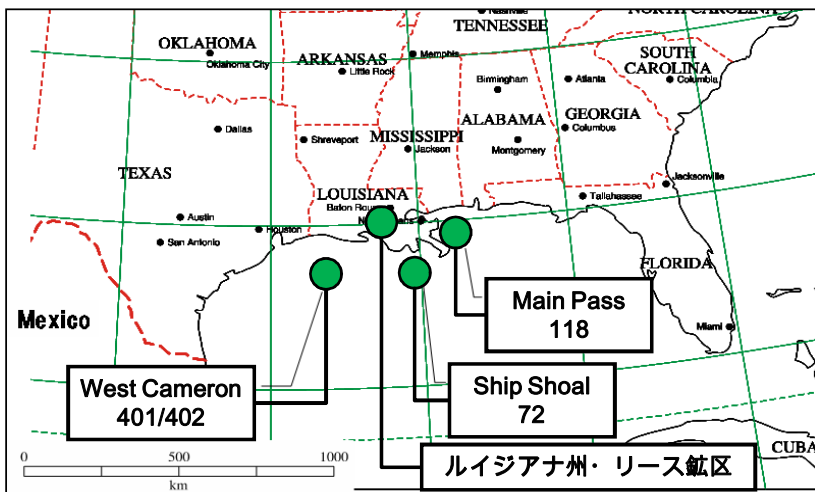
- 権益比率: FJPL\*18.3%  
(オペレーター: Chevron)
- \*持分法適用関連会社(当社はFJPLの37.5%の株式を保有)
- 生産量\*:
  - ・原油: 日量約5万8千バレル
  - ・ガス: 日量約4百万立方フィート
- コンセッション契約: 2025年まで
- 2006年6月に最終投資決定、2009年6月より生産開始
- ピーク生産量: 日量約10万バレル

\* 全鉱区ベース、2010年9月平均日産量

# 米国メキシコ湾 プロジェクト

Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.

**INPEX**



- 当社権益比率
  - ・ Ship Shoal 72 : 25%
  - ・ West Cameron 401/402 : 25%
  - ・ Main Pass 118 : 10%
  - ・ ルイジアナ州・リース鉱区  
LSL 19372:17.5%
- コンセッション契約
- 生産量\*
  - ・ ガス: 日量約22百万立方フィート
  - ・ 原油: 日量約4百バレル

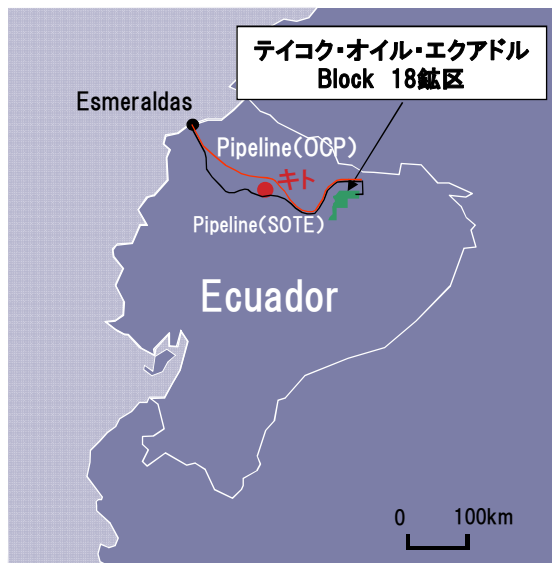
\* 全鉱区ベース、2010年9月平均日産量



# Block 18 鉱区

## テイコク・オイル・エクアドル

**INPEX**



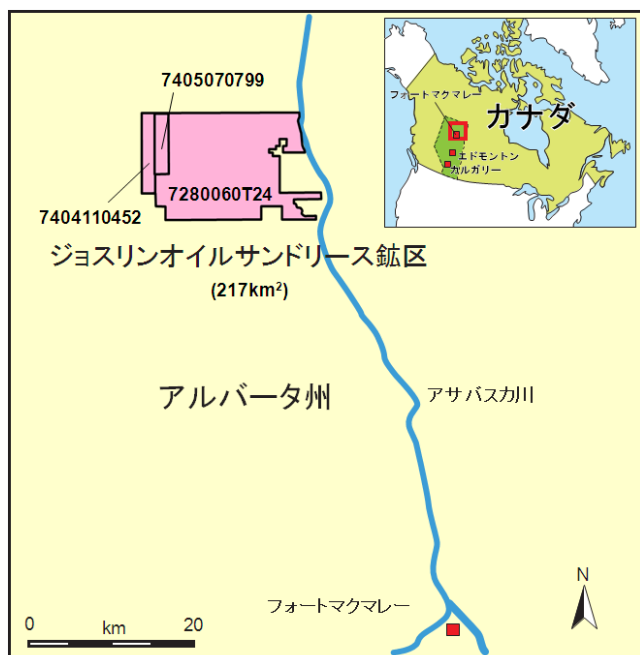
- 当社権益比率:40%  
(オペレーター:ペトロプラス)
- コンセッション契約(2002-2022年)
- 生産量\* : 日量約2万バレル

\* 全鉱区ベース、2010年9月平均日産量

# ジョスリン オイルサンドプロジェクト

## インペックスカナダ石油

**INPEX**



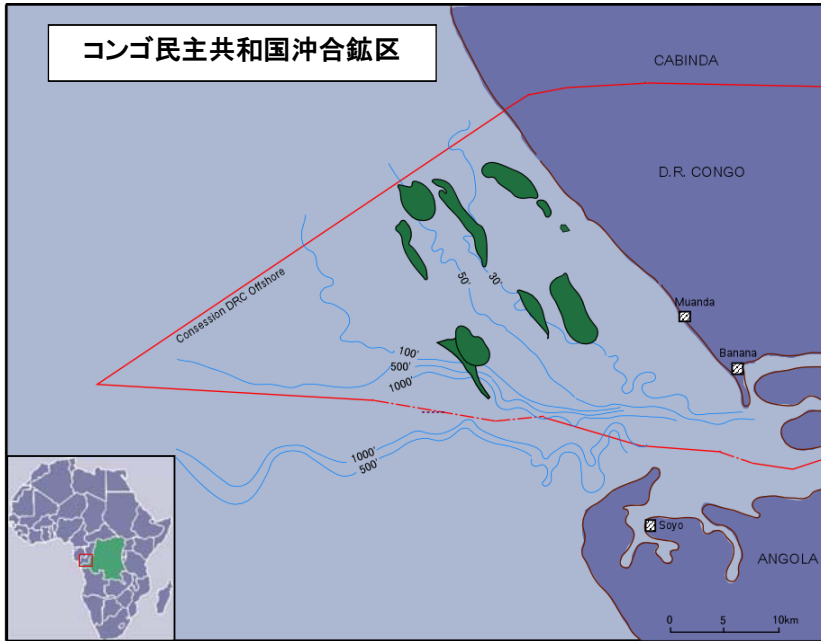
ジョスリンオイルサンドリース鉱区 位置図

- 当社権益比率 :
  - ・上流開発プロジェクト 10%(オペレーター:TOTAL)
  - ・改質プロジェクト 7.14% (オペレーター:TOTAL)
- リース契約(3鉱区の合計約220km<sup>2</sup>)
  - ・7280060T24 : 無期限
  - ・7404110452 : 2004年11月より15年間のprimary lease\*
  - ・7405070799 : 2005年7月より15年間のprimary lease\*

\*延長可能
- 上流開発プロジェクト :
  - ・スチーム圧入(SAGD法)による生産は2009年3月から休止
  - ・2010年代後半までに、露天掘り開発により、日量10万バレルの生産を計画(第一段階)、その後、日量20万バレルまで拡大予定(第二段階)
- 改質プロジェクト :
  - ・上流開発プロジェクトの生産開始後、処理能力日量13万バレルの改質プラント(第1段階)をアルバータ州エドモントンで稼働させる計画

# コンゴ民主共和国沖合鉱区 帝石コンゴ石油

**INPEX**

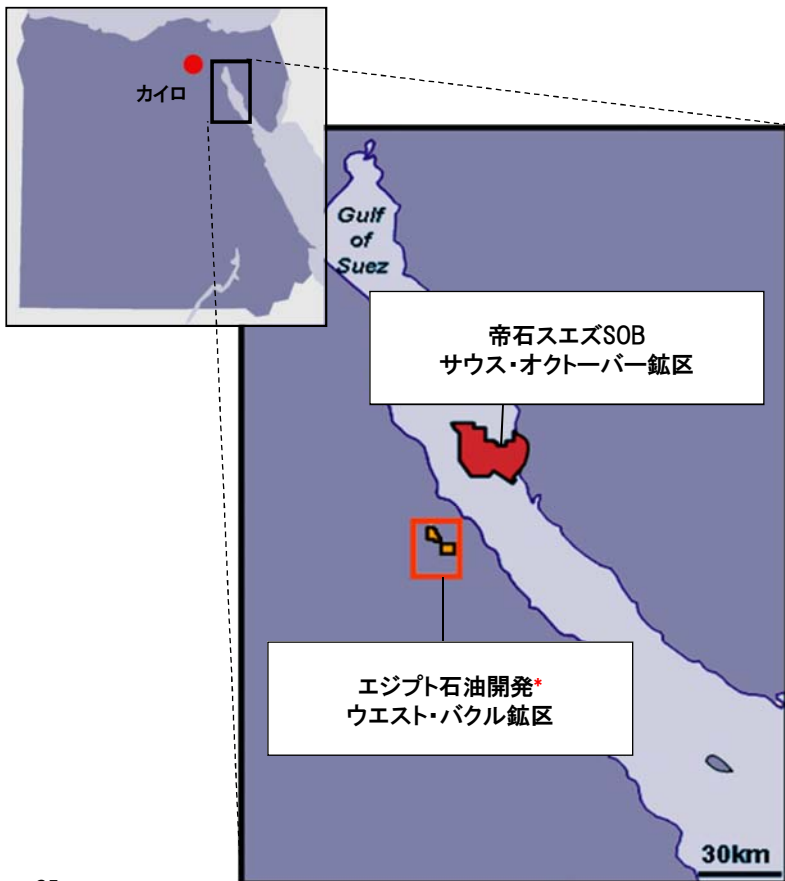


- 当社権益比率:32.28%  
(オペレーター:ペレンコ)
- コンセッション契約(1969-2023年)
- 生産開始:1975年
- 生産量\*: 日量約1万4千バレル

\* 全鉱区ベース、2010年9月平均日産量

# エジプト プロジェクト エジプト石油開発\*ほか

**INPEX**



## ウェスト・バクル鉱区

- 当社権益比率:100%(オペレーター)
- PS契約(1975-2020年+5年延長オプション)
- 生産開始:1980年
- 生産量\*\*: 日量約3千バレル

## サウス・オクトーバー鉱区

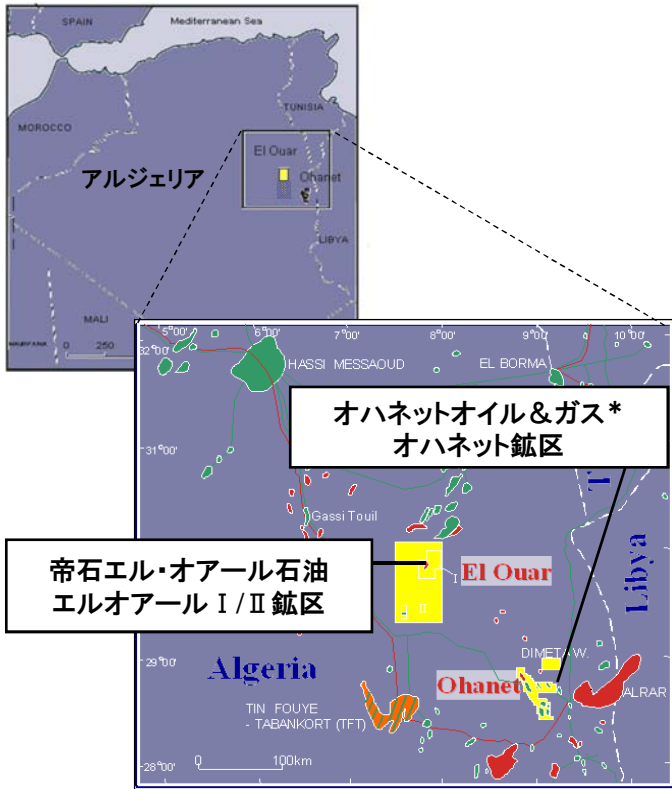
- 当社権益比率:35%(オペレーター:Dana Petroleum)
- PS契約(2005-2010年)
- 試掘掘削作業中

\* 当社株主シェア52.7%

\*\* 全鉱区ベース2010年9月平均日産量

# アルジェリア プロジェクト

## オハネットオイル&ガス\*/帝石エル・オアール石油 **INPEX**



### オハネット鉱区

- 権益比率:30%(オペレーター:BHPB)
- リスクサービス契約(2000-2011年)
- 生産開始:2003年10月
- 生産量\*\*
  - ・ドライガス: 日量約507百万立方フィート
  - ・コンデンセート: 日量約1万6千バレル
  - ・LPG: 日量約1万8千バレル

### エル・オアール I / II 鉱区

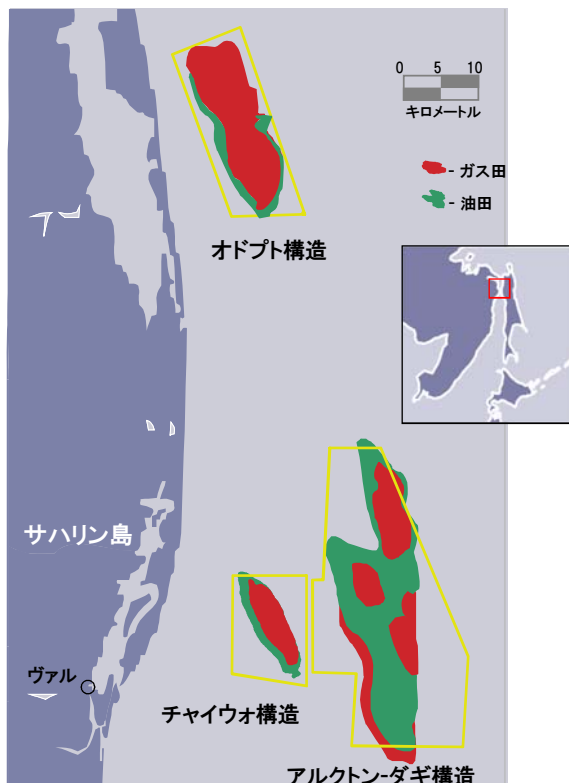
- 当社権益比率:10.29%(オペレーター: ENI)
- コンセッション契約
- 原油およびガス・コンデンセート田の開発準備中

\* 当社株主シェア15%

\*\*全鉱区ベース2010年9月平均日産量

# サハリン I

## サハリン石油ガス開発 **INPEX**



- サハリン石油ガス開発(SODECO):当社保有株式5.75%(石油公団が保有していた50%の株式は経済産業大臣が承継し、当社は諸条件が整えば、最大33%まで取得する方向で調整中)
- SODECOのサハリン I における権益比率: 30.0%
- 生産量\*
  - ・原油・コンデンセート 日量約14万バレル
  - ・ガス 日量約833百万立方フィート
- オペレーター: ExxonMobil
- PS契約: 2001年12月、プロジェクトの「商業性宣言」がロシア政府より承認され、20年間の開発期間に移行
- 2005年10月、チャイヴォ構造より生産開始、2006年10月原油輸出開始
- 2010年9月、オドプト構造より生産開始
- 天然ガスをロシア国内に供給中。さらに中国等へ輸出を検討中

\*2010年9月平均日産量

# 東シナ海 国際石油開発帝石

INPEX



- 1969年：試掘権を出願、1981・84年：地震探鉱を実施
- 1992年：中国側が平湖油・ガス田を発見、1998年生産を開始。1997～1999年：石油公団が地震探鉱を実施。2004～2005年：石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)が地震探鉱を実施
- 2005年4月：経済産業省が試掘権設定のための処理手続きを開始、これを受け、九州経済産業局に対して、当社出願42,000km<sup>2</sup>のうち3エリア(約400km<sup>2</sup>)の試掘権設定の願いを提出。2005年7月：同3エリアの試掘権が付与され、8月に鉱業権設定が完了
- 2008年6月18日：東シナ海における日中間の協力について、両政府間で以下を基本合意。
  - ・日中間の東シナ海における共同開発
  - ・白樺(中国名:「春暁」)油ガス田開発
- 当社は、日中政府間協議の行方を見守りながら、作業着手への準備を整えつつ、関係官庁等と協議した上で進めたいと考えている

## 主要会社一覧及び石油契約①\*

INPEX

会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
<b>日本</b>					
・国際石油開発帝石	南長岡ガス田ほか**	日本	コンセッション	-	
<b>アジア/オセアニア</b>					
・国際石油開発帝石	マハカム沖鉱区	インドネシア	PS	-	
・インペックス南マカッサル石油	セブク鉱区(ルビーガス田)	インドネシア	PS	100%	
・ナトゥナ石油	南ナトゥナ海B鉱区	インドネシア	PS	100%	
・MI Berau B.V.	ベラウ鉱区(タンゲー-LNG)	インドネシア	PS	44%	
・インペックスマセラアラフラ海石油	マセラ鉱区(アバディ)**	インドネシア	PS	51.9%	
・サウル石油	バユ・ウンダン	チモール海共同開発地域	PS	100%	
・インペックス西豪州ブラウズ石油	WA-37-R(イクシス)/WA-285-P **	オーストラリア	コンセッション	100%	
・インペックスチモールシー	キタン油田	チモール海共同開発地域	PS	100%	
・アルファ石油	ヴァンゴッホ油田	オーストラリア	コンセッション	100%	
・アルファ石油	ラベンスワース油田	オーストラリア	コンセッション	100%	
<b>ユーラシア</b>					
・インペックス南西カスピ海石油	ACG油田	アゼルバイジャン	PS	51%	
・インペックス北カスピ海石油	カシャガン油田	カザフスタン	PS	45%	

注：\* 2010年9月末時点  
\*\*オペレータープロジェクト

# 主要会社一覧及び石油契約②\*



会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
<b>中東</b>					
・ ジャパン石油開発	ADMA 鉱区(アッパーザクム油田等)	アラブ首長国連邦	コンセッション	100%	
<b>アフリカ</b>					
・ 帝石コンゴ石油	コンゴ民主共和国沖合鉱区	コンゴ民主共和国	コンセッション	100%	
・ エジプト石油開発	ウエスト・バクル鉱区**	エジプト	PS	52.7%	
・ 帝石スエズSOB	サウス・オクトーバー鉱区	エジプト	PS	100%	
・ オハネットオイルアンドガス	オハネット鉱区	アルジェリア	サービス	15%	
・ 帝石エル・オアール石油	エル・オアール I / II 鉱区	アルジェリア	コンセッション	100%	
<b>米州</b>					
・ インベックスカナダ石油	ジョスリンオイルサンドリース鉱区	カナダ	コンセッション	100%	
・ テイコク・オイル・アンド・ガス・ベネズエラ	コパ・マコヤ** / グアリコオリエンタル	ベネズエラ	ジョイントベンチャー	100%	
・ PT Moruy II, S.A.		モルイ II 鉱区ベネズエラ	ジョイントベンチャー		
・ Teikoku Oil (North America)	Ship Shoal 72, West Cameron 401/402ほか	米国	コンセッション	100%	
・ Frade Jap ã o Petr3leo Limitada	フラーヂ鉱区	ブラジル	コンセッション	37.5%***	
・ テイコク・オイル・エクアドル	Block 18	エクアドル	コンセッション	100%	

注: \* 2010年9月末時点

\*\*オペレータープロジェクト

\*\*\*インベックス北カンボス沖石油(当社の持分法適用関連会社)の子会社。出資比率(37.5%)は同社を通じた当社の実質的な比率。



## その他

# 公募増資の概要

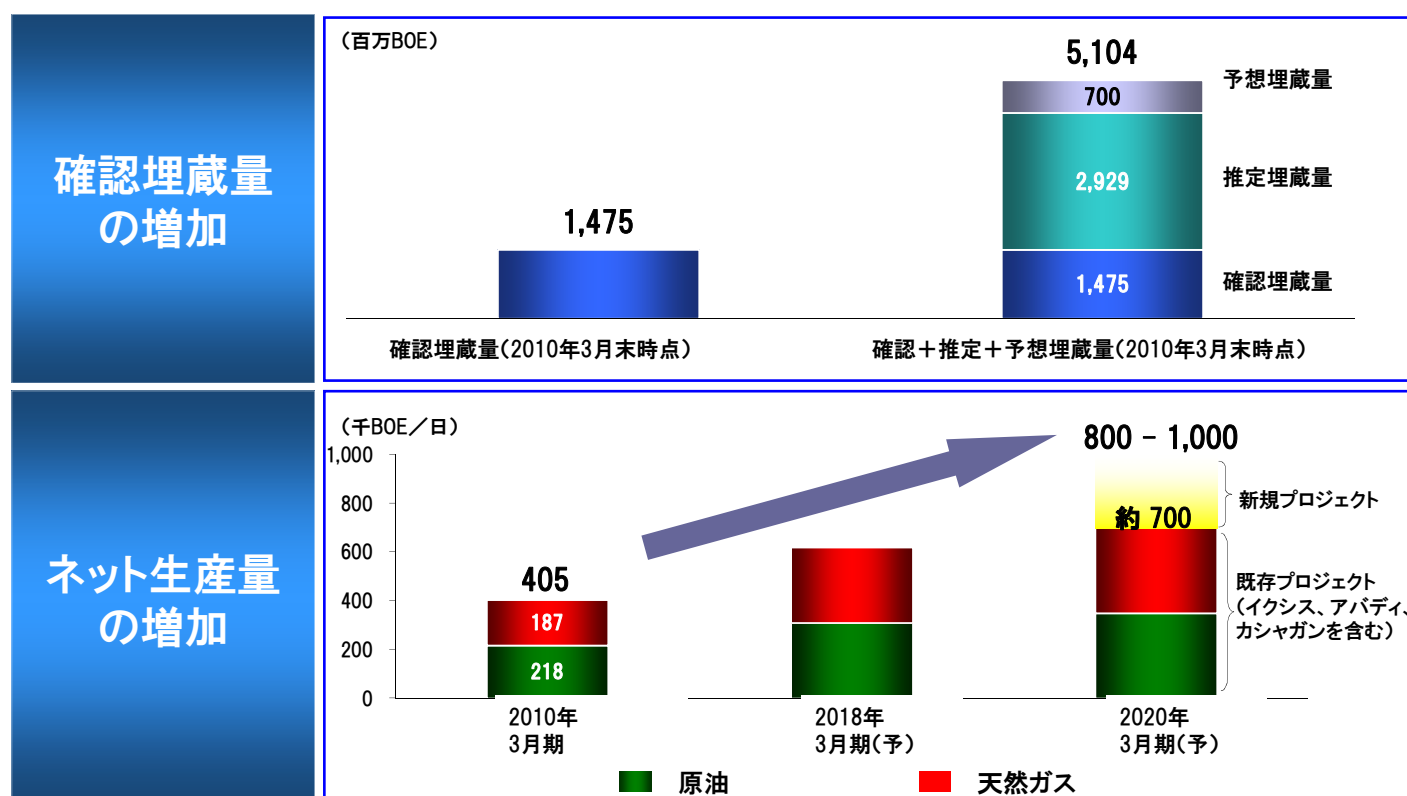
INPEX

発行形態	グローバル・オファリング(国内一般募集及び海外募集)
発行価格/募集価格	402,050円/417,100円
調達額	5,216億1,967万円
増加する資本金	2,608億9百万円
新規発行株数	1,297,400株
増資後発行済株式総数	3,655,809株(甲種類株式を除く)
払込期日	一般募集分:2010年8月2日
	オーバーアロットメントによる第三者割当増資分:2010年8月31日

42

# 当社の中長期的な成長目標

INPEX



飛躍的な成長を実現するために今後7年間で約4兆円の投資を計画

43

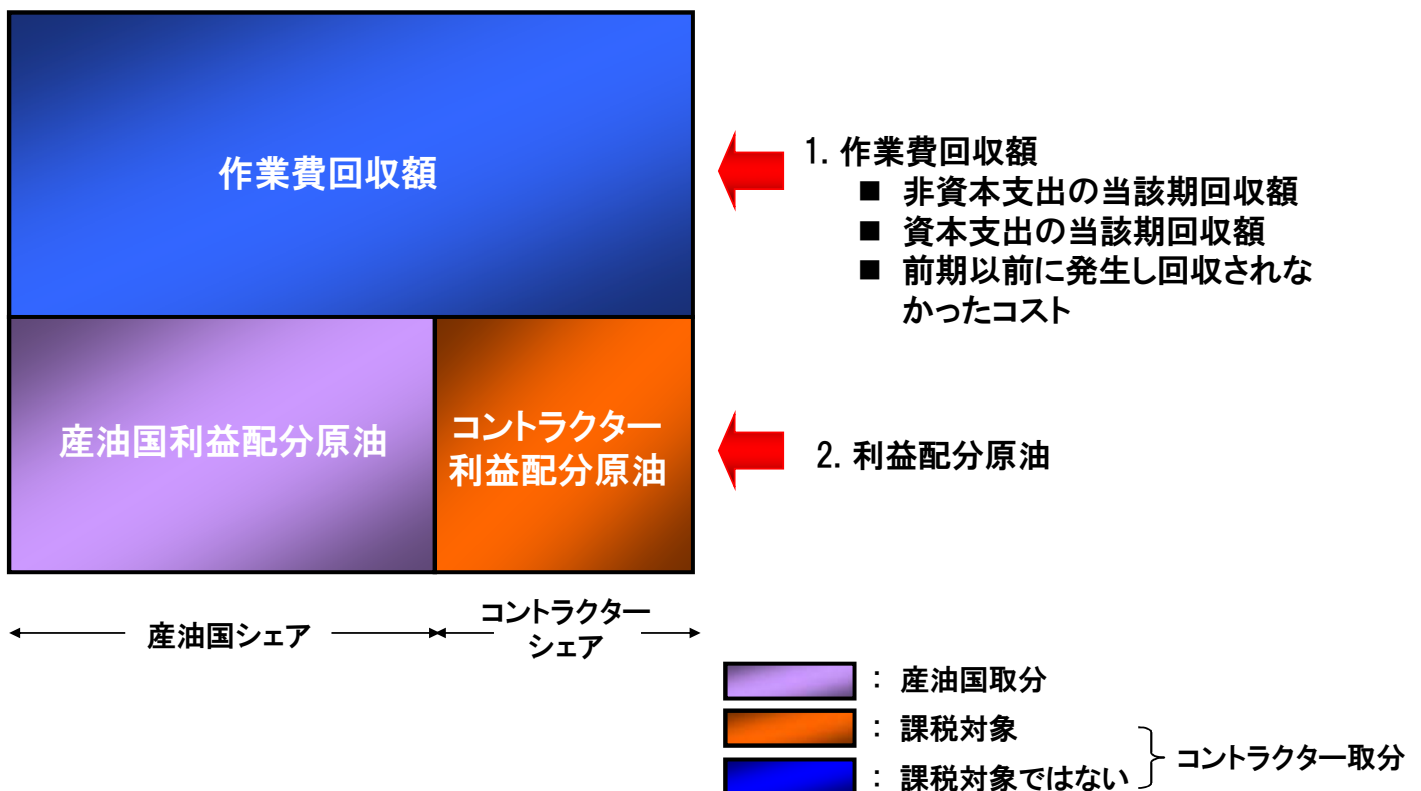
## 低コストでの有利な資金調達

健全なバランス・シートを維持し、  
資金調達の安定性と柔軟性を確保

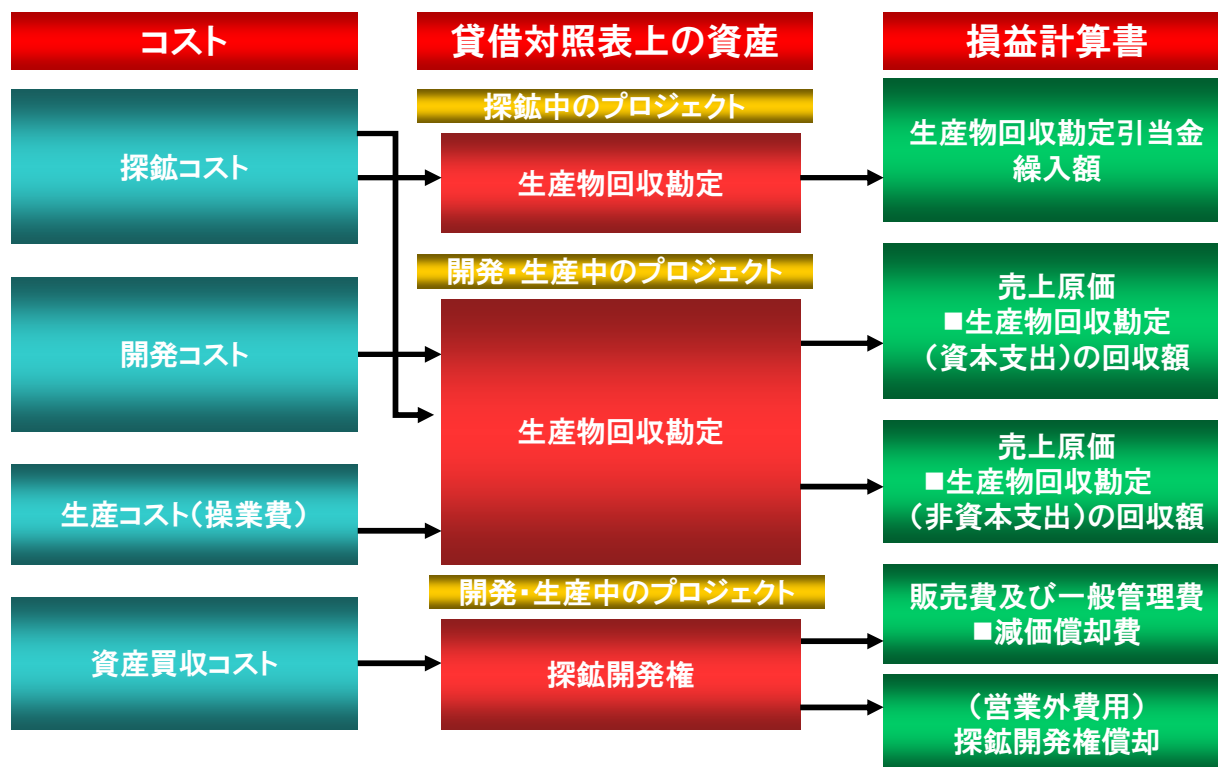
JBIC及びJOGMECの制度金融の  
活用により開発資金を調達

- イクシス、アバディ及びカシャガンの3大プロジェクトに必要な投資を確実にするための資金調達力を維持
- 将来の新規プロジェクトへの継続的な投資を実現するために、バランス・シートを更に強化
- 長期的財務レバレッジ水準(目標値)
  - 自己資本比率:50%以上
  - 使用総資本に対する純有利子負債の比率:20%以下

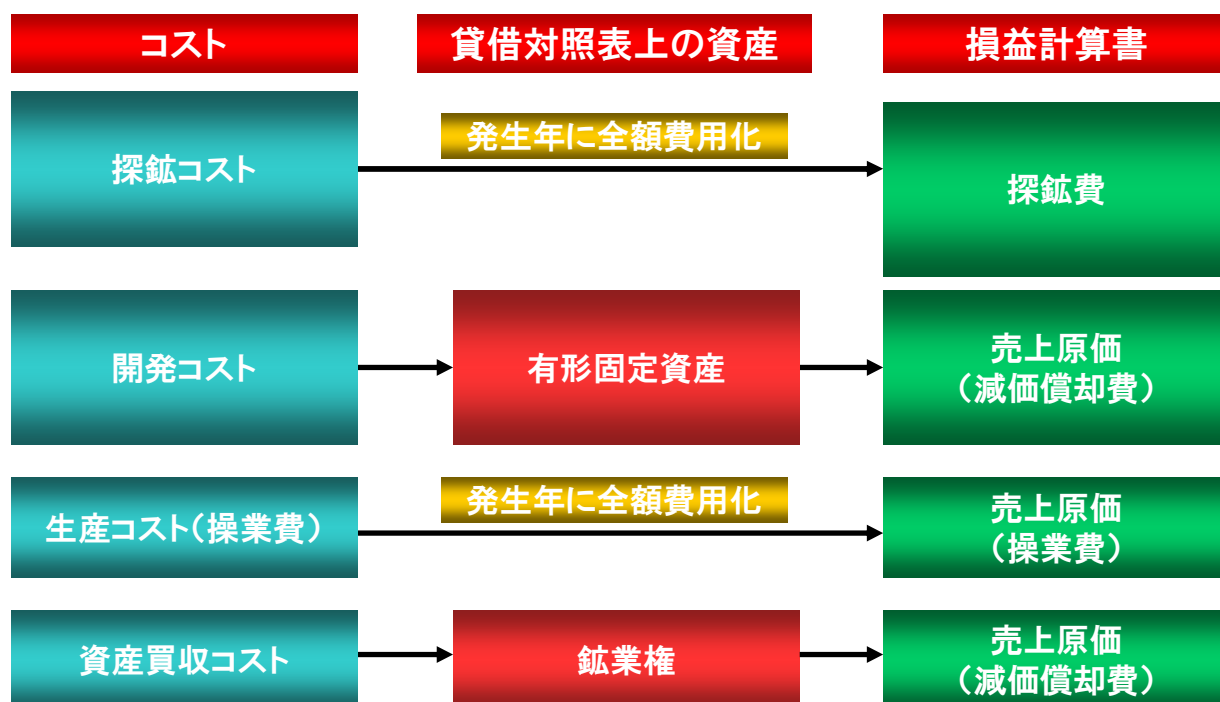
## 生産分与契約



# 生産分与契約に係る会計処理

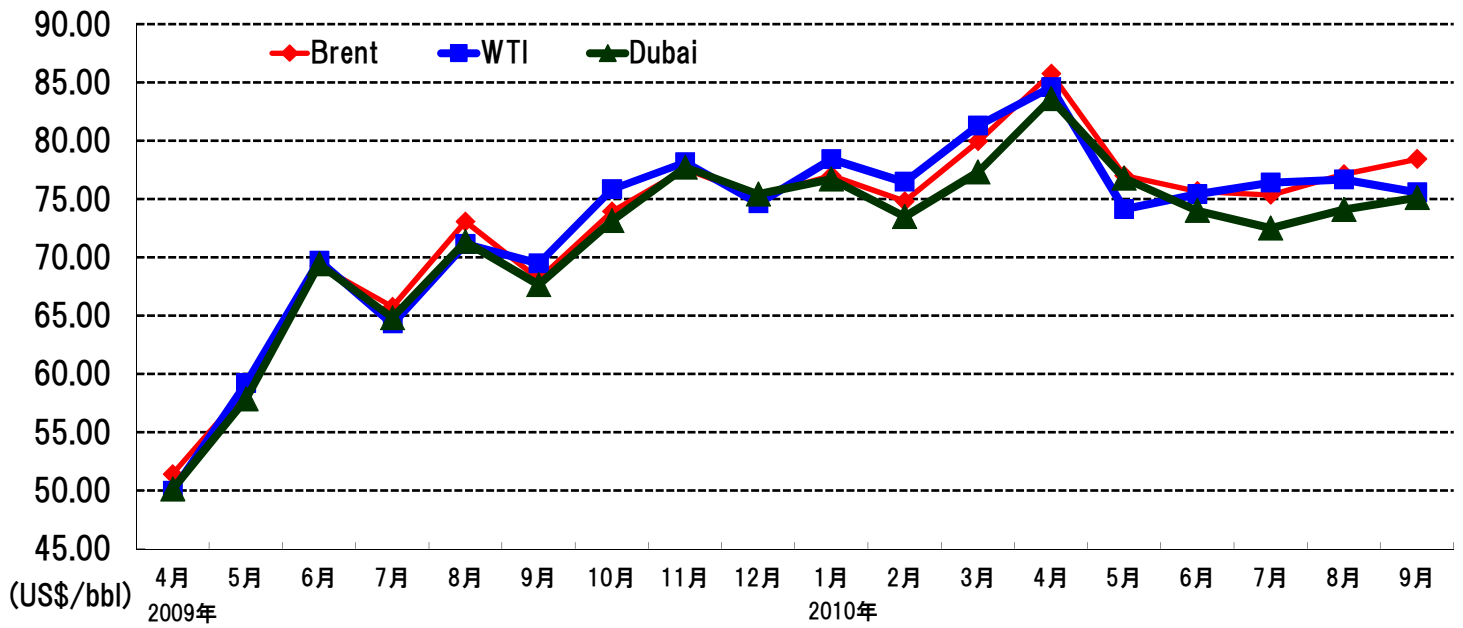


# コンセッション契約に係る会計処理





# 油価の推移



	2010年3月期 上半期	2010年3月期 通期	2010年						2011年3月期 上半期
	平均	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
Brent	64.37	62.49	85.75	77.00	75.66	75.36	77.12	78.42	78.22
WTI	63.96	61.80	84.58	74.12	75.40	76.38	76.67	75.55	77.12
Dubai	63.53	61.69	83.59	76.78	73.99	72.49	74.09	75.12	76.01